

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

2022 年陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

- ①選手招集は雨天練習場で行う。
- ②招集開始時刻が来たら係員にアスリートビブスとスパイクの確認を受け、競技者係の誘導指示に従う。最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までに招集所に「二種目同時届」を提出すること。
- ③欠場する場合は、「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ④用紙（二種目同時届、欠場届）は正面玄関ホールの TIC に置く。
- ⑤招集時刻（競技開始時刻を基準とする。）

トラック予選								
100m・200m・400m			800m・110mH・110mJH 100mH・400mH			1500m		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前
5～8	15分前	5分前	4～5	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前
9～12	5分前	5分前						
13～14	5分前	15分後						

トラック			トラック	
5000m タイムレース決勝			準決勝・決勝	
組	開始	完了	開始	完了
1	25分前	15分前	25分前	15分前
2	15分前	5分前		

フィールド						混成競技	
棒高跳		その他の跳躍競技		投てき競技		トラック	フィールド
開始	完了	開始	完了	開始	完了	競技開始	
60分前	50分前	50分前	40分前	40分前	30分前	10分前	30分前

- ⑥携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内、競技エリア内に持ち込まないこと。

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブス(縦 16cm×横 24cm)は、男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、必ず胸、背につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
- ②写真判定にともなう腰ナンバー標識(縦 12cm×横 18cm)は、男女とも黒字で明瞭に書き右腰後方につけること。
- ③ 1500m 予選・決勝、少 B3000m 決勝、5000 決勝、3000nSC 決勝、5000mW 決勝については別腰ナンバー標識を使用する。招集場で受け取り、フィニッシュ後に係に返却すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- ①予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。なお準決勝、決勝の組み合わせ（レーン順、試技順）は全て番組編成員が行う。
- ②タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。ただし、オープンレーンの競技（800m は除く）の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR.6 に準ずる。
- ②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。

(男子) 5000m 17分、 5000W 28分 (女子) 5000m 19分、 5000W 29分

③計測記録は次のとおりとする。

男	走幅跳	6m00	やり投	45m00	女	走幅跳	4m40	やり投	20m00
---	-----	------	-----	-------	---	-----	------	-----	-------

④三段跳の踏切板は、砂場から男子 13m00、女子 9m00 の地点に設置する。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男	走高跳	1m70、1m90	1m75-80-85-88-91-94-97-2m00- 以降3cm刻み
	十種走高跳	1m40、1m70	1m45-50-55-60-65-70-73-76- 以降3cm刻み
	棒高跳	3m70、4m50	3m80-90-4m00-10-20-30- 以降10cm刻み
	十種棒高跳	2m40、3m50、4m00	2m50-70-90-3m00-10-20- 以降10cm刻み
女	走高跳	1m40、1m55	1m45-50-55-58-61-64-67- 以降3cm刻み
	七種走高跳	1m20、1m45	1m25-30-35-40-45-48-51-54- 以降3cm刻み
	棒高跳	2m70、3m50	2m80-90-3m00-10-20-30-40- 以降10cm刻み

同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには所属名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。
- ③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の靴底(ソール)の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。
- ⑤皇子山陸上競技場の使用規定により、固定ピンスパイクシューズを除き、ニードルピンなど先端が尖ったピンの使用を禁止する。

8. 表彰について

- ①県選手権種目優勝者(国体選考種目は除く)には選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。
- ②結果のアナウンスののち、該当者は直ちに表彰席(玄関ホール)に来ること。

9. 近畿選手権の出場権について

- ①本大会6位(男子十種競技、女子七種競技は4位)入賞者は、近畿選手権大会に出場できる。但し、県内登録者に限る。出場希望者は、プログラム掲載の大会要項を確認の上、申込メ切り日までに申し込むこと。
- ②今大会中に申し込む場合は、プログラム最終ページの「個人申込票」に記入し、参加料を添えて正面玄関ホールのTICまで提出すること。

10. 練習について

- ①競技場練習の時間帯は7:30~8:50とする。
- ②競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- ③投てき練習(メディシンボール等を含む)は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ④ウォーミングアップは多目的グラウンド競技場側半分とオールウェザー走路で行うこと。
- ⑤トリムコースでウォーミングアップを行う場合は一般の通行人の妨げにならないように十分注意すること。多目的グラウンド周辺で、ダッシュ等のウォーミングアップは禁止する。

11. その他

- ①本大会の記録証明書(500円)は、正面玄関ホールのTICに申し出ること。
- ②競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ③貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。
- ④使用した場所は責任を持って清掃すること。各自が出したゴミ等は持ち帰るか、あるいは指定のゴミ用コンテナに持って行くこと。ペットボトル等の容器はつぶして容積を小さくしてから捨てること。競技場の環境美化に協力すること。